



弘前アップル RC 週報

会長：荒田 俊治 幹事：坂本 大輔

2013/11/25

第 64 回例会

弘前アップル RC 事務所

〒036-8086 青森県弘前市田園 1-21-1 アイエーネットワーク内

外部卓話

白神山地財団

理事長 渋谷拓弥 様



家業はお茶屋です。父から引き継いで2代目です。創業お茶屋は忙しくなるので、本日も朝から走り回っていました。私は、白神山地にフォーカスしまして、

これからのまちづくりの原点は白神に目を向けて進めるべきだと5年前から感じています。本日はそんなお話をさせていただきます。



さて、まちづくりとは誰の仕事でしょうか？

今まで、そして今でも行政がやっております。しかし、だんだん行政も大変になってきており、まちづくりに市民団体、つまり市民の協力が必要になってきているという状況です。私はNPO法人として活動しているのですが、行政どういう違いがあるかという、より志がある、より専門的である、事業性が高い、機敏であるというようなところ です。

この特徴の異なるふたつが一緒になることで、まちづくりの効果が大きくなると思います。

私たちが、白神山地財団を設立したのは、平成24年2月29日です。4年に一回しかない設立記念日です。環白神（白神山地を取り囲んでいるエリア）の地域復興のシステムが白神財団です。もっと言うと、お財布を持つという考え方です。我々が何か活動しようというときに、お金の問題で続けていけなくなることが多い中、それを解消する仕組みを作ろうということです。白神山地は1993年に日本で初めて世界遺産に登録されました。今年20周年です。白神山地が世界遺産になった時に、日本の世界遺産エリアが一気に広がりました。

そして、この白神は自然の豊かさだけでなく、文化も持っているということ を認識いたしました。実際に西目屋村で発掘作業が行われ、縄文時代の人たちの生活があったということです。

「里山」という言葉があります。この里山という言葉は、世界でも日本とス

ウェーデンでしか使われていないくらい貴重な言葉です。おととしのCOP10という名古屋で開かれた大会では、「里山イニシアチブ」という宣言がされています。自然と共生していくということをもっと世界中で共有していこうというものです。

環白神は5つの市町村からなっています。西目屋、深浦、鱒ヶ沢、八峰町、藤里町これらが白神山地を有しています。弘前市は、西目屋の下流域なので、行政区はもっていませんが、都市機能の中心地なんですね。すごく広大な平野なので、地図で見ても、弘前が白神山地の中心であるというような地理的な背景みたいなものを感じると思います。

白神はなんといっても「水」。東日本大震災では、昨日まで農業をやっていたような人たちが、突然畑がなくなったりとか、やる事がなくなってしまおうというような経験をして、私たちはもう一度、自分たちの地域や日本の文化を見直す時期にはいったのだと思います。私自身は3・12の日に結婚式の披露宴の予定だったのですが、前の日に停電になり、会場のホテルの方から連絡いただいて、中止ということになり、ホテルの社員さんたちが受付を作って延期のはがきを作って出してくださいました。

白神財団といっても、自然保護をやっている団体ではありません。完全に町おこし村おこし、地域の活性化を行っています。自然を豊かに保つのは当たり前前の話で、そのエリアに住んでいる人たちが、生活できなくなったり、その場を離れなければならなくなるなん



て元も子もない話です。私たちはあえてまちづくりで白神にかかわると宣言してきました。

白神財団を作る際苦勞したことといえば、4年程前に構想を持って、白神といえばこの人っていう人たちのところに行き、「私は白神財団という仕組みを作ればいいと思っています。協力してくれませんか？」という話をする、「お前は白神山地をカネで売るか？」と門前払いをされていました。もちろん、そんなつもりではなかったので、伝え方が悪いのかと反省しました。それでも地道に3年くらい活動を続けていると、その白神の第一人者たちの方とも少し打ち解けてきて、ある日飲み会に呼ばれました。お酒も入ってしばらくしてから言われたのが、「渋谷、お前の活動を3年間みてきたけど、言ってることやってることは基本的に我々と同じだ。だから、これから我々はお前の支援者になる。」ということでした。私は3年間の苦勞が報われた気がして涙を流しました。

その翌日から白神財団を正式に立ち上げる活動に入りました。弘前を含める6つの環白神の市町村を回りました。たった3日で組長を全員説得いたしました。

白神財団だけでなく、地域づくりに必要な要素は4つだと考えています。

①地域資源経営：白神の価値を誰が共有するのかということをもとに考える。今私たちがリサーチしている中では、農山村と都市との交流の創造という部分ではキリンビールさんやリクシルさん住友林業さんJTBさんが企業から事業の一環として寄付を協力していき

いというものもあります。

その中でも今、一番協力いただいているのは日本コカ・コーラさんです。いろはすというお水が売れたらその売り上げの一部を白神山地を守る活動に寄付をしようと企業できめました。

その寄付は我々の白神財団を経由して、「がんばりすと」という地域活動に還元していったり、その他の色々な団体の活動に支援をしています。

②オープンプラットフォーム：つながりを大事にすること。

③里山：たとえば、マルシェも弘前マルシェと言わないで、「白神マルシェ」という風にして、もっと世界遺産のネームバリューで事業展開していったらどうかと提案しています。キッズキャンパスという、子供たちの林間学校を今年の冬も計画しております。

④ソーシャルイノベーション：地域資源を活用しながら地産地消型で災害に強い自立型社会を作っていこうというものです。

今年20周年は以下のような事業をたてました。まずは、白神の魚。これは、弘前市内で白神山地の本当に美味しい魚を食べられる仕組みを作ろうというものです。

次に、観世界自然遺産サミット。

そして、白神マルシェ。

これらが今年の事業です。

白神財団は、環白神というグローバルな目線によって弘前というローカルな場所の地域づくりをしていく。白神って「神」という名前がついているように、非常に神々しいイメージがあると思います。白神山地というのは、森のことだけを私たちは指しているのでは



なく、森の恵みをいただいて生活をしている地域全体を白神山地と呼んでいます。

日本人の宿泊旅行の動機？

第三位は保養・休養

第二位は旅先の美味しい食事

第一位は非日常を感じる

つまり、普段の生活から離れ、旅先にしかないおいしいものを食べ、心身ともにリフレッシュできるものが商品としてあれば、お客様は必ずくるということです。

これは普通の商売でも一緒だと思っ
ていまして、観光とは非日常を提供すること。そもそも、観光は非日常の生活文化体験なのです。

弘前の将来を考えるにあたって、私は観光、とくにブナだと考えています。現在は桜祭りやりんごねぶたを売ってきていますが、例えばりんごは明治時代とかに武士の産業として家の前に植えていたところからで、200年くらい前からでしょうか？桜祭りはまだ100年です。では、白神山地は？

8000年です。8000年の歴史です。

だから、桜やりんごを大事にするのももちろんいいと思うんですが、最先端の目線で行ったら、今はブナを見ないとダメかなと思います。

例えば、10年後くらいに街中にブナがパツとなっていて、駅前にブナ林があるとか、他の街とは全然違う風になりますよね。日常に非日常の演出ができます。まして、ブナの木陰をずっと歩いて弘前城まで行けたとしたら、素晴らしい景観が描けるのではないかと思います。

日本の人口、そして、青森県の人口はどんどん減り、高齢化に向かっています。しかし、世界の人口は増えてます。そこから、ターゲットは世界の人ということになります。勝ち残るとするのは「価値が残る」と考えてもいいんじゃないかと思います。

戦略なき戦術は必ず失敗します。戦略とは地域の目指すべきゴールであり、戦術は方法です。

では、我々はどういうビジョンを描けばいいのか？

私たちが目指すまちづくりというのは、白神の水が飲める町を作ること。その狙いは白神により接近した地域らしさ、リンゴや桜の時代からブナにもっともって原点回帰をしていくこと。その考え方の中で今やっているのが、ブナの街中緑化事業。ブナというのは緑化木に入っていません。故にオンリーワンになります。

これを活かしていけばきっとおもしろいと思います。

スイスが永世中立国としてブランド化されているように、白神山地もブランド化していくことが大切だと感じます。新聞記事にこんなことを書かれている現状もあります。

「沸く屋久島、細る白神」

詳細に、何が書いてるのかというと、世界遺産登録されてからの20年間で、屋久島には宿とかがすごく元気になったり、屋久島を歩くルートがすごく整備されて歩きやすく、「非日常」を簡単に感じれるような整備がされてきて、どんどん観光客が増えてきている。

しかし、白神山地は、旅館を閉める人が多くいますし、ガイドさんたちも少



ない観光客を取り合ってケンカします。こういう苦勞があります。ここをみんな考えていくことなのではないかなと思っています。

最後に最近のこんな新聞記事をご紹介しましたが、少しでもみなさんが白神山地を考える時間になったなら幸いです。



会長挨拶 吉田淑子副会長

渋谷さん、今日は本当にありがとうございました。一番最初に名刺交換した時に、お茶の話したはずだったのに、お話聞いたら本当にお茶屋さんかなって・・・?(笑)本当に幅広いご活躍で、皆さんもそうだと思うのですが、色々自分の立場に置き換えて共感できることもたくさんあったと思います。あと、裕介さんおめでとうございます。ユンコさんもおめでとうございます。上田さんも良かったですね。私のはおめでたくないです(笑) みなさん、日々ちゃんと暮らしていきましょう(笑)



ニコニコ報告

山田順子会員：ゆーすけさん、ご結婚おめでとうございます。幸せ分けてね。4月から医学部保健学科作業療法の教授に内定しました。弘前とのお付き合いはまだまだ続きます。

上田勝会員：母が退院しました。道はまだ遠いかもですが、ほほえみに復帰させるまで頑張ってもらいます。

吉田淑子会員：田中さん、ご結婚おめでとうございます。ユンコもおめでとうございます。渋谷さんのお話楽しみにしています。

木村由美会員：渋谷拓弥さんの卓話楽しみに来ました。ようこそアップルロータリークラブに。お仲間になれたら最強ですね！！

坂本大輔会員：渋谷さん、お忙しい中ようこそいらっしゃいました。卓話楽しみにしています。

三浦順子会員：渋谷さん、スケールの大きな・・・でも生きていくのに大切なことを学びました。私に何ができるんだろう・・・じっくり考えます。ユンコおめでとうございます。ゆうすけさん、おめでとうございます。

福澤稔会員：今日の例会は、白神山地財団理事長の渋谷拓弥さんをお迎えし、講演を聞かせて頂くことを非常に楽しみにしております。渋谷さん、よろしくお願いいたします。

宇野純子会員：渋谷さん、ようこそ！田中さん入籍おめでとう。ユンコ&淑ちゃんおめでとう。おめでた続きで嬉しいですね。

澁谷明広会員：福澤さん、ラインをアップルパイに誘っていただきありがとうございました。12月1日は黒石ロータリーのそば打ち例会に参加してきます。楽しみです。

吉澤葉子会員：渋谷さん、今日はお忙しい中ありがとうございました。お話



楽しみにしてきました。順子さん赤福のおみやげカンゲキで一す！！

岡本薫会員：田中裕介さん、ご結婚おめでとうございます。末永くお幸せに。ユンコさん、教授への昇進本当におめでとうございます。

関場慶博会員：渋谷さん、ようこそ弘前アップルクラブへ。お話を大変楽しみにしています。

田中裕介会員：遅ればせながら11月17日に入籍しました。これからは夫婦でよろしくお願ひします。



出席報告

第64回例会

出席者数 14名

出席率 48%

修正出席率 55%

【メイクアップ】

11月14日

黒石RC

澁谷会員、三浦会員

■例会予定

12月2日(月) 内部卓話 福澤総会員

12月9日(月) 内部卓話 澁谷明広会員

*同日 例会終了後定時総会を行います。

12月16日(月) E例会(社会奉仕委員会)

12月23日(月) クリスマス例会

12月30日(月) 休会

10月21日(月) E例会(担当:米山委員
会)